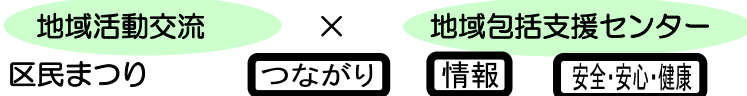


●地域ケアプラザ・地域包括支援センター共通の取組

地域ケアプラザは、市民の誰もが住み慣れた地域において健康で安心して暮らせるよう、地域の福祉・保健活動を支援し、福祉保健サービス等を身近な場所で総合的に提供する施設です。

地域包括支援センターは、介護保険法に定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関です。横浜市では、地域ケアプラザ及び市が指定する特別養護老人ホーム（緑区では、「特別養護老人ホーム ふじ寿か園」）に、機能の一つとして地域包括支援センターを設置しています。

緑区内の地域ケアプラザ及び地域包括支援センターの紹介や主な取組は、P. 81～87をご覧ください。ここでは、共通の取組を紹介します。



毎年、緑区区民まつりには、地域ケアプラザと地域包括支援センターが協働で取り組み、地域間と世代を越えて、広く知っていただくことを目的に参加をしています。

今年度は、射的やクイズの催しを開催し、来場いただいた方には地域ケアプラザ・地域包括支援センターのパンフレットを配布する予定でしたが、雨のため中止となってしまいました。



緑区地域ケアプラザコーディネーター連絡会にて避難所運営ゲーム「HUG」の勉強会を行いました。コーディネーターの勉強会で始めた研修が、地域包括支援センターの力を借りて地域に広がりはじめています。地域ケアプラザによって活用の仕方はさまざまですが、支えあい連絡会や団体交流会の場面で研修会を実施しています。

避難所運営ゲーム「HUG」とは…?
グループワークで避難所の運営者側の模擬体験をすることで、避難所のあり方について考えていくアプローチ型のゲームです。

